

工作会 活動記録 報告書

報告者 吉田小恵子

行事名	工作会研修「竹の工作 — カニ、コオロギ」 担当 1 班
実施日時	2019年6月12日(水) 9:30~15:00
場所	売布ぷらごこむ3階フリールーム
参加人員	一般:無し MNC 会員 34名
参加者氏名	専任幹事 大地 (敬) 1 班 平山(元)、宮川、村上、松田(輝)、橘、吉田、中村 (幸)、荒井、鹿本、 林 (10名) 2 班 松田(秀)、今西、松生、笠間、多田、田中、高橋(博)、森本、牛塚、竹内、 小山 (11名) 3 班 永田、詠田、沼田、中尾、青山、香川、新宅、石原、藤野、上條、石堂、 東田 (12名)
報告事項	<p>いつもと場所が変わって、3階のフリールームでした。冷房はお金がかかるということで、窓を開けて始まりました。暑い日でしたが、いい風が入って気持ちよく活動できました。</p> <p>サワガニもコオロギも、部品は少ないので、まず各自材料を確保しました。細い竹を使って足の関節を表現します。カニの爪は少し太目の竹の節が味を出します。苦労したのは甲羅の横から足を出すため、竹の厚みに穴をあけることと、はんだごてで温めながら細い竹を曲げること。苦手な人は経験者に手伝ってもらいながらもうまく進めていきました。サワガニを仕上げ、コオロギに取り掛かった人もでてきたころ、昼食休憩となりました。</p> <p>午後は、班会議、次の取り組みの準備をする班、それも終われば、続きです。カニの仕上げやコオロギの制作と、みんな熱心に作成していました。</p> <p>出来上りを並べてみると、タカアシガニのような長い脚のカニや、枝分かれした足のカニなど、個性的な作品が並びました。コオロギは完成が少なめでしたが、どれも黒竹の特徴を生かした作品が出来上がっていました。見本の作品は、今にもピョンと飛び跳ねそうでした。</p>
連絡事項	担当班1班より、ご協力へのお礼と、16日の甲山ファミリーへのご協力をお願いしました。また、7月は第2水曜日の10日に加えて、8月の分として31日(第5水曜日)に工作会があることが確認されました。

添付写真



